

新年を迎える前に

事務局長

立野 良輔

月日が経つのは、

早いもので今年も終わろうとしていま。昨年同様、新型コロナウイルスの影響で我慢することが多い1年だったかと思えます。私のお寺でも多くの行事の中止、もしくは厳しいルールを定めた上で開催するような状況でした。早く終息して普段通りの生活、行動ができるようになってほしいもので



す。ただコロナによる自粛の生活も悪いことばかりではなく、本に触れる時間が多くなりました。過去に購入した本を読み返していると、その当時にいろいろと思いついたり、新たな発見があったりしました。その読み返した本に『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を

コロナの終息迎えたときの未来への目標を

読んだら』(岩崎夏海著)という1冊があります。弱小校のマネージャーがドラッカーの組織経営の著書『マネジメント』を参考にしながら甲子園を目指すというお話です。ベストセラーを記録した本でご存じの人も多いかもしれません。

10年ほど前に読んだときに多くの部分で共感し、何度も読み返した記憶が残っております。

「成長には準備が必要である。いつ機会が訪れるかは予測できない。準備しておかなければならない。準備ができていなければ、機会は去り、他所へ行く」

本の中で引用されているドラッカーの著書の1文です。成長とは会社・組織で

いうところの目標、目的の達成だろうと私は捉えております。

コロナ禍だから「仕方ない」「できない」とネガティブに考えるのではなく、終息を迎える未来への目標を定めて前向きに準備をしていかなければならないと感じました。もう少しで令和3年が終わります。新年を迎える前に新たに目標を掲げ、コロナが

「成長には準備が必要である。いつ機会が訪れるかは予測できない。準備しておかなければならない。準備ができていなければ、機会は去り、他所へ行く」

とあります。

◇ ◇

終息したときには今より成長した自分であるように、1歩ずつ精進していきたいと思えます。

昭和57年福岡県生まれ、福岡市本岳寺副住職、前福岡県日蓮宗青年会長、全国日蓮宗青年会事務局長とは会社・組織で